

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

第7号

発行責任者 梅津秀雄
編集 総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター
TEL 029(287)3534

ふくし白方



「気を抜かず一歩一歩」新会長のあいさつ

白方地区社会福祉協議会 会長 梅津秀雄

富山前会長の後任を拝命した梅津です。4月24日の総会にて役員交代があり、新体制でスタートしました。

設立から今日までの旧役員、関係者の苦勞に敬意と謝意を表すると共に、今後の発展継続を考える時、大きな責任と共に危機感すら感じます。インフォーマルな集団は、楽しく集まる事自体が目的となる側面があります。ふれあい食事会、見守り活動など構造化されたプログラムの中で、硬直化も懸念されます。例えば食事会では対象者が限られ自由度も少なく、見守り訪問では協力員の交代もあり、要援護者との十分な信頼関係（例えば何でも話し合える）が築かれているのだろうか、等です。

限られた時間内での活動で、欲を言えばきりが無いが、もう少し各グループでの活動方針や計画の話し合いが自由に行われ、この成果が引き継がれていく仕組みが必要であると考えます。自分たちで考え、知恵を出し合った活動でこそ面白味も継続もあり得る訳で、自己実現にも寄与するものと考えます。一方先の大震災で見られた皆さんの「何かしなければ！」の助け合い遺伝子イオンを見れば、大きな期待も膨らみます。共に楽しく、悔いのない活動をやりましょう。新役員一同に、ご協力をよろしくお願い致します。

| | |
|------|-------|
| 副会長 | 橋本 敬 |
| 〃 | 吉村 恒雄 |
| 事務局長 | 宮本 荘一 |
| 事務局 | 畔野 貞子 |
| 〃 | 川井 芳夫 |



平成23年度
白方地区社会福祉協議会総会

富山前会長 辞任のあいさつ

白方地区社会福祉協議会 前会長 富山 明

平成23年度定例総会に於いて、役員改選が行われ会長職を辞しました。顧みれば組織化準備会から設立総会を経て、今日までの各種事業への積極的な取り組みを踏まえて、関係部署、会員の方々には多大なご支援、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

各地域のふれあい協力員の方々には、ボランティアとして献身的な活動に多くの高齢者から事ある毎に「ありがとう」の一言を受けるなど、地域に根ざした活動基盤づくりが進展している証だと思います。

先般は、未曾有と云われる大震災が東北地方を襲い甚大な被害をもたらし、地震発生から津波が襲う30分の時間帯にお隣さんや町内、地域としての日頃の備え、瞬時の行動により生死が分かれた究極の実態に心が痛みます。そんな中、各地から災害ボランティアの方が現地に入り懸命に活動する姿には頭が下がります。

本格的な復旧、復興も儘ならぬ東北からの多くの尊い教訓と受け止め、私共が取り組んでいる各地域の「あったかコミュニティ」の大切さ重要性を再認識する契機とし、お互い様の気分で人々が結びつく雰囲気を広めるチャンスにしたい。今後も地域づくりには地区社協の充実発展が不可欠です。旧に倍したご協力をお願い申し上げお礼の挨拶と致します。

23年度事業への3グループ長の意気込みを聞きました。

総務グループ

グループ長
宇佐美 寿一

広報紙「ふくし白方」の2回／年発行と、「しらかた交遊会まつり」への積極的協力を目玉事業として取り組みます。

広報紙では各地域で実施した、ふれあい事業を洩れなく伝える事や、次年度からふれあい型食事サービス事業が、各地域で独自性を持った多種多様な事業活動に移行するか？立ち止まって考える年度になる。その進捗状況などを解りやすく報道したいと思います。

「交遊会まつり」での美味しい「おにぎり」は地区社協3グループ員の絶大な協力なくしては出来ません。

その力量の程度なども報道したい。

支え合いグループ

グループ長
川上 善直

支え合いグループの主な役割は、65歳以上の一人暮らしや虚弱高齢者等の安否確認を通し見守り事業と災害時におけるネットワークシステム事業です。

特に、3月11日に発生した東日本大震災もありこのシステムの構築が必要に迫られています。

またニーズ把握は、高齢者が地域で安心して暮らせる事項を見出す事業です。さらに小地域福祉活動推進等もこれらを推進させ地域福祉の一助に努めたいと思います。ふれあい協力員、民生委員、地区社協の関係者の皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。

ふれあいグループ

グループ長
加藤 慶子

ふれあいグループでは、ふれあい食事会はもとより、1人でも多くの方々に参加して頂けるよう、幅を広げて頑張ります。

今後は、ふれあい「いきいきサロン事業」世代間交流会、敬老会事業等にも拡大して行く事も必要かと思えます。

課題は多々ありますが、3月11日東日本大震災では、震災時には何が出来たか、今後はどのように活動をすれば良いのか等々、ネットワーク作りをする事も必要かと思えます。

ふれあい協力員全員が、力を合わせて頑張りますので、今年一年間宜しくお願い致します。

百塚地域で被災地へ手作りの物資届ける

震災後、九州の漬物店より被災者の方へと漬物二箱いただき、その受入先を村社協に相談した折、他に必要とする物があれば百塚福祉サークルで協力したいと申し出ました。座布団がほしい地域があるとの情報を得て、以前百塚で座布団店を営んでおられた島根様に指導をお願いすると共に地域の男子ソフト部「ゴールドパワーズ」にも協力をお願いしました。綿集め等地域一体となり座布団100枚と手差し50組を作り、村社協と共に北茨城市大津に届けました。二回目に福島県いわき市に届けた際現地の方と話が出来、「枕」があれば助かるとの情報を聞き急ぎそばがらを入手し、枕58個を作り再度いわき市に届けました。その後も座布団120枚を宮城県亘理市に届ける事が出来ました。

天皇皇后両陛下が北茨城の避難所をお見舞いされた折、私達の手作りの座布団に高齢者の方々が座られ、陛下のお言葉を受けられている様子がテレビで放映されました。北茨城の担当者からDVD録画と礼状が届きました。座布団を作るにあたり、布等の寄付や地域の方々の協力も得られ、微力ながらお役に立てた事を喜ぶと共に、被災者の方々が一日も早く復興されることを祈っています。



(百塚地域 岡部やす子)

各地域ではこんな活動をしています。

百塚地域 石岡「風土記の丘」で観桜

リーダー 宮本ふさ子

東日本大震災により年度末の「ふれあい食事会」が中止となり、高齢者とふれあい協力員が集う機会もなく地域全体に活気がうせたように思われました。こういう時こそ「サロン」が必要であり、今年度の計画通り4月のサロン（お花見）を石岡の「風土記の丘」で行いました。

バスの中は協力員のガイドで笑い声が絶えず、久しぶりの会話も弾みました。現地では、しだれ桜が風に舞う中を散策し持参した甘酒を飲みながら、うらかな春の日を満喫しました。

穏やかな日々がいかに大切かを感じられた一日でした。

「出来る時に、出来る人が、出来ることを」をモットーに活動している百塚です。



4月20日39名参加

村松北地域 東日本大震災で恒例の花見会が出来ませんでした！！

リーダー 疋田 浩

村松北区のふれあい協力員が主体となって、新緑の春を全身で感じながら高齢者と交流を図ろうと、4月8日（土）に第3回目の花見を予定していました。

今までは、知った者同志の会合には例年60名ぐらい参加して、会食に余興に笑顔が一杯で親睦を深めましたが、大震災の後に阿漕ヶ浦の花見も中止などの事情もあり、残念ながら私達も中止いたしました。

身辺が落ち着いたなら自然に触れるハイキングなど軽い運動を計画してみたいと思っています。



亀下地域

地域独自の手作り弁当で交流

リーダー 宮本 荘一

6月13日白方コミセン調理室で手作り弁当を作り、見守りを兼ねて80才以上の高齢者を訪問しました。

旬の材料で作った弁当に、高齢者から「おいしい」「ありがとう」など、感謝の言葉が多く寄せられました。



白方地域 「震災時の安否確認」あれこれ

リーダー 蓮田 弘

忘れもしない3月11日の大震災、村内でも全てがストップするなど大パニックとなった。その日見守り対象者を訪問して、また近隣の方から聞いた話でいろんな状況を知ったが、その中に問題も浮かび上がった。以下に安否確認のあれこれを拾ってみました。

77才女性宅で班長と隣人2人で声かけしたがいない、間もなく娘さんと外出から戻ったのでホッとしたが、途中で戻れない状況になったらどうなっていたか？ 83才の女性は夕刻になってもデイサービスから戻ってこない。隣は避難して不在、コミセンの避難者名簿に記録がない、翌朝施設で聞くと「昨夕息子さんが迎えに来て連れて帰った」とのこと。電話が使えないことでここまで混乱を来すとは…。又、82才の男性は無事だったが、夜は余震が続いたので二晩車の中で過ごした。リーダーが水や温かいものを差し入れたこと等々。

豊白地域

ふれあい交流会 in いきいきサロン

リーダー 鈴木 芳樹

6月26日(日)豊白集会所において招待者(75歳以上)、喜楽会、子供会、を含む90名が参加して実施した。グラウンドゴルフ、輪投げ、詩吟、カラオケ、全員で童謡を合唱など、手作り弁当を食べながら楽しく過ごしました。



豊岡地域

リーダー 橋本 美晴

4～6月の事業は特に計画されていませんでしたので、大震災が影響したことはありませんでした。目下、ふれあい食事会を中心に活動しています。さらに、毎年行っているふれあい敬老会を今年も11月に予定しています。会員から多くのアイデアを募り楽しい企画にしたいと思っています。



岡地域

リーダー 富永 修身

当地域では4～6月ふれあい事業は予定されていないので、現在、スタッフ一同充電中です。



あなたも『ふれあい協力員』としてボランティア活動してみませんか!!

本会の事業は全て「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。できるだけ、多くの地域住民の方に活動への参画をしていただくことが地域福祉充実の鍵となります。本会では多くの方々に協力を願って、いつでも「ふれあい協力員」の希望者を受け付けております。ふれあい協力員となって地域福祉活動に参画してみようと思っておられる方は、下記までご連絡ください。

白方地区社会福祉協議会事務局

TEL 287-3534